

光と空気と水を生かす

Always With You



第89期 中間事業報告書

平成29年4月1日 ~ 平成29年9月30日

株主の皆さまへ



代表取締役
会長執行役員

菅谷 節



代表取締役
社長執行役員

北野 晶平

株主の皆さまには

日頃より格別のご高配を賜り、
ありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、第89期第2四半期連結累計期間
(平成29年4月1日～平成29年9月30日)における
事業の概要についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における我が国を取り巻く経済情勢は、企業活動の持ち直しが続く一方で、個人消費は力強さを欠く状況にあるものの、企業収益・設備投資には底堅さがあり、緩やかな景気回復基調の継続が見られました。

建設業界におきましては、公共投資が底堅く推移し、また民間設備投資も好調な企業業績を背景に、既存設備の老朽化更新や人手不足への対応に向けた省力化・合理化などで底堅く推移するものと予想されます。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間における業績は次のとおりとなりました。

受注工事高734億27百万円、完成工事高681億41百万円、経常利益34億69百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益22億97百万円となりました。

中間配当につきましては、既に公表しておりますとおり、1株当たり11円50銭とさせていただきます。

当社は、創業以来一世紀以上にわたり、電気、空調、衛生設備工事を手がける総合設備工事業者として、いつの時代もお客さまが必要とする環境を提供してまいりました。

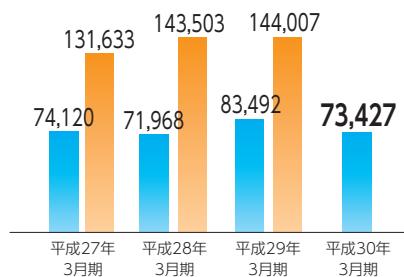
そして今、6年後の創業120周年に向け、従来の設備技術だけにとどまらず、それを活用できる新たな分野、領域への挑戦を始めています。

今後とも、株主の皆さまの一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

連結財務ハイライト

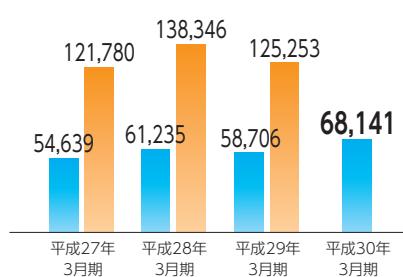
受注工事高

■ 上期 ■ 通期 (百万円)



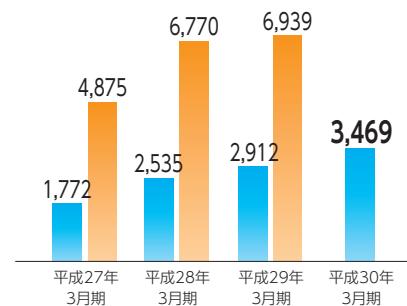
完成工事高

■ 上期 ■ 通期 (百万円)



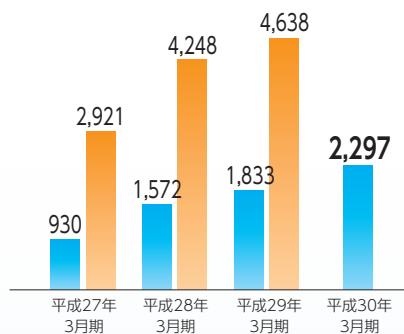
経常利益

■ 上期 ■ 通期 (百万円)



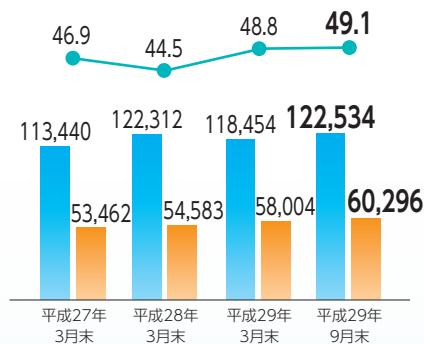
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

■ 上期 ■ 通期 (百万円)



総資産・純資産・自己資本比率

■ 総資産 ■ 純資産 (百万円) ● 自己資本比率 (%)



1株当たり純資産額

(円)



(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成27年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり純資産額」を算定しております。

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度末 (平成29年3月31日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (平成29年9月30日現在)
【資産の部】		
流動資産		
現金及び預金	26,576	27,994
受取手形・完成工事未収入金	49,198	49,477
電子記録債権	8,216	7,918
未成工事支出金	478	1,024
材料貯蔵品	0	0
繰延税金資産	1,194	1,014
その他	1,857	3,452
貸倒引当金	△ 6	△ 6
流動資産合計	87,516	90,875
固定資産		
有形固定資産	4,694	4,646
無形固定資産	682	616
投資その他の資産		
投資有価証券	16,574	17,107
繰延税金資産	0	0
退職給付に係る資産	7,560	7,861
その他	1,615	1,615
貸倒引当金	△ 188	△ 190
投資その他の資産合計	25,562	26,394
固定資産合計	30,938	31,658
資産合計	118,454	122,534

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度末 (平成29年3月31日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (平成29年9月30日現在)
【負債の部】		
流動負債		
支払手形・工事未払金	20,051	21,315
電子記録債務	16,384	18,573
短期借入金	3,880	4,009
未払法人税等	1,143	1,148
未成工事受入金	3,028	1,514
賞与引当金	—	2,131
役員賞与引当金	—	35
完成工事補償引当金	76	71
工事損失引当金	254	96
その他	8,887	6,471
流動負債合計	53,705	55,367
固定負債		
長期借入金	2,054	1,931
繰延税金負債	3,046	3,300
退職給付に係る負債	1,339	1,335
海外投資損失引当金	7	6
長期未払金	296	296
その他	0	0
固定負債合計	6,744	6,870
負債合計	60,450	62,237
【純資産の部】		
株主資本		
資本金	4,479	4,479
資本剰余金	4,809	4,809
利益剰余金	43,290	45,008
自己株式	△ 678	△ 686
株主資本合計	51,901	53,610
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,344	6,727
為替換算調整勘定	13	16
退職給付に係る調整累計額	△ 441	△ 239
その他の包括利益累計額合計	5,916	6,504
非支配株主持分	186	180
純資産合計	58,004	60,296
負債・純資産合計	118,454	122,534

POINT 四半期連結貸借対照表

流動資産は、前連結会計年度末比3,359百万円増(3.8%)の90,875百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加1,417百万円(5.3%)及びその他流動資産の増加1,595百万円(85.9%)によるものです。固定資産は、前連結会計年度末比720百万円増(2.3%)の31,658百万円となりました。主な要因は、投資有価証券の増加533百万円(3.2%)及び退職給付に係る資産の増加301百万円(4.0%)等によるものです。

流動負債は、前連結会計年度末比1,661百万円増(3.1%)の55,367百万円と

なりました。主な要因は、電子記録債務の増加2,189百万円(13.4%)等によるものです。固定負債は前連結会計年度末比125百万円増(1.9%)の6,870百万円となりました。主な要因は、繰延税金負債の増加254百万円(8.4%)等によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末比2,291百万円増(4.0%)の60,296百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加1,717百万円(4.0%)等によるものです。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	(平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)	(平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)
完成工事高	58,706	68,141
完成工事原価	50,273	59,491
完成工事総利益	8,433	8,650
販売費及び一般管理費	5,348	5,448
営業利益	3,085	3,201
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	155	160
受取保険料	104	93
為替差益	—	80
その他	18	18
営業外収益合計	280	356
営業外費用		
支払利息	69	77
支払保証料	3	4
為替差損	359	—
その他	21	7
営業外費用合計	453	89
経常利益	2,912	3,469
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	—	8
特別利益合計	0	10
特別損失		
固定資産除却損	2	0
ゴルフ会員権評価損	—	3
災害による損失	76	—
特別損失合計	79	4
税金等調整前四半期純利益	2,833	3,474
法人税、住民税及び事業税	671	1,011
法人税等調整額	335	175
法人税等合計	1,006	1,186
四半期純利益	1,827	2,288
非支配株主に帰属する 四半期純損失(△)	△ 5	△ 8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,833	2,297

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	(平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)	(平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,265	2,114
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,243	△ 128
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 562	△ 582
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 100	14
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	4,359	1,417
現金及び現金同等物の 期首残高	23,536	26,549
現金及び現金同等物の 四半期末残高	27,896	27,967

POINT 四半期連結損益計算書

完成工事高は、前年同四半期連結累計期間比9,434百万円増(16.1%)の68,141百万円となりました。

完成工事総利益は、完成工事高の増加により、前年同四半期連結累計期間比216百万円増(2.6%)の8,650百万円となりました。

営業利益は、完成工事総利益が増加したことを受け、前年同四半期連結累計期間比116百万円増(3.8%)の3,201百万円となりました。

経常利益は、前年同四半期連結累計期間に生じた為替差損359百万円が、当第2四半期連結累計期間においては、為替差益80百万円に転じたこと等を受け、前年同四半期連結累計期間比556百万円増(19.1%)の3,469百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益として投資有価証券売却益800万円等を計上し、法人税、住民税及び事業税、法人税等調整額及び非支配株主に帰属する四半期純損失を控除した結果、前年同四半期連結累計期間比464百万円増(25.3%)の2,297百万円となりました。

POINT 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は2,114百万円(前年同四半期連結累計期間は6,265百万円の資金の増加)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上及び仕入債務の増加等の資金の増加要因が、その他の流動資産の増加及び未成工事受入金の減少等の資金の減少要因を上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は128百万円(前年同四半期連結累計期間は1,243百万円の資金の減少)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は582百万円(前年同四半期連結累計期間は562百万円の資金の減少)となりました。主な要因は、短期、長期借入金の返済による支出及び配当金の支払額が、短期、長期借入れによる収入を上回ったことによるものです。

株式の状況／会社の概要

(平成29年9月30日現在)

Stock Information/Corporate Profile

発行株式数及び株主数

- 発行可能株式総数 80,000,000株
- 発行済株式の総数 45,963,803株
- 株主数 3,344名

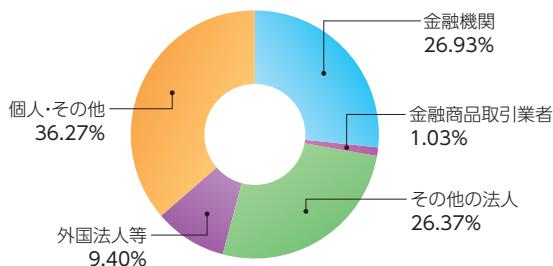
※平成29年10月1日付の株式併合に伴い、発行可能株式総数は40,000,000株に、発行済株式の総数は22,981,901株となりました。

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東京大元持株会	2,113	4.74
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,947	4.36
有楽橋ビル株式会社	1,826	4.09
大阪大元持株会	1,564	3.50
HSBC BANK PLC-MARATHON VERTEX JAPAN FUND LIMITED	1,528	3.42
ダイダンを従業員持株会	1,466	3.28
三信株式会社	1,118	2.50
名古屋大元持株会	1,081	2.42
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	971	2.17
株式会社みずほ銀行	959	2.15

(注) 1. 当社は、自己株式1,379,119株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式1,379,119株を控除して計算しております。

所有者別分布



会社概要

社名	ダイダンを株式会社
英文社名	DAI-DAN CO., LTD.
創業	明治36年3月4日
設立	昭和8年10月10日
所在地	<本店・大阪本社>大阪市西区江戸堀1丁目9番25号 <東京本社>東京都千代田区富士見2丁目15番10号
資本金	4,479,725,988円
事業内容	電気工事、空調工事、水道衛生工事の設計、 監理、施工ならびにこれらに関連する事業
従業員数	1,534名

役員一覧 (平成29年12月1日現在)

代表取締役	会長 執行役員	菅 谷 節
代表取締役	社長 執行役員	北 野 晶 平
取締役	副社長 執行役員	藤 澤 一 郎
取締役	副社長 執行役員	太 田 隆 英
取締役	常務 執行役員	古 新 亮
取締役	常務 執行役員	池 田 隆 己
取締役	執行役員	立 石 知 和
取締役	執行役員	力 石 和 彦
取締役	執行役員	吉 田 宏 雄
取締役	執行役員	松 原 文 政
常勤 監査役	常勤 監査役	滝 谷 秀 史
常勤 監査役	常勤 監査役	大 崎 浩 二
監査役	監査役	河 野 義 充
監査役	監査役	西 内 一 也
主 席 執 行 役 員	主 席 執 行 役 員	吉 田 一 憲 也
上 席 執 行 役 員	上 席 執 行 役 員	荻 野 憲 功
上 席 執 行 役 員	上 席 執 行 役 員	清 水 登 功
上 席 執 行 役 員	上 席 執 行 役 員	高 比 良 満 也
上 席 執 行 役 員	上 席 執 行 役 員	坪 田 具 志 外
上 席 執 行 役 員	上 席 執 行 役 員	北 村 広 順 治
上 席 執 行 役 員	上 席 執 行 役 員	道 端 康 宏
上 席 執 行 役 員	上 席 執 行 役 員	山 中 丈 士
上 席 執 行 役 員	上 席 執 行 役 員	櫻 井 重 章
執行役員	執行役員	大 橋 繁 典
執行役員	執行役員	三 好 中 洋
執行役員	執行役員	田 中 洋
執行役員	執行役員	佐 々 木 洋
執行役員	執行役員	山 岸 工
執行役員	執行役員	平 田 博 英
執行役員	執行役員	坂 本 暢 彦
執行役員	執行役員	芝 田 泰 生
執行役員	執行役員	檀 原 稔 和
執行役員	執行役員	畑 中 勝 美
執行役員	執行役員	笹 木 寿 男

(注) 1. 取締役のうち吉田宏、松原文雄の両氏は、社外取締役であります。
2. 監査役のうち滝谷政春、河野浩二の両氏は、社外監査役であります。

ダイダンの事業活動

ダイダンは、建物の電気設備、空調設備、給排水衛生設備をトータルにコントロールして、快適空間を創造します。



リニューアール

建物設備のリニューアールは、機能・性能の向上と室内環境を改善します。
また、建物の長寿命化や省エネルギー化など、お客さまの資産としての価値を高めることができます。

● ホームページのご案内

当社のホームページでは、IR情報をはじめとして当社の各種情報を公開しておりますのでご覧ください。



<https://www.daidan.co.jp/>

● 「ダイダンレポート2017」を発行



当社の事業活動やCSR活動に加え、財務・非財務データを盛り込んだ統合的な企業レポート「ダイダンレポート」は、下記のホームページリンクよりダウンロードが可能です。

ダイダンレポート2017

<https://www.daidan.co.jp/csr/report.html>

● 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
1単元の株式の数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
公告方法	電子公告により行います。 当社ホームページに掲載いたします。 (https://www.daidan.co.jp/finance/koukoku/)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部

UD
FONT



ダイダン株式会社

〒550-8520
大阪市西区江戸堀1丁目9番25号
電話 (06) 6447-8000